

産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診 察 日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00-12:00
 〒502-0017 岐阜市長良雄穂878-16
 IP Tel: 058-295-9545
 FAX: 058-296-3903
 E-mail: zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/

第114号 2013.9.1.
 毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介

福島県浪江町から、みずえさんの訴え

松井英介

・・・15,000頭ほどの牛を殺処分した。それでも放れ牛がいて、人間を信頼して寄ってくる。「ごめんね、ごめんね」と言うしかなかった。

・・・2012年1月に、うちのワンコが突然吐血して死んだ。その後仮設のワンコが次々に死んだ。仮設住宅は、阪神・淡路大震災の時につくられた法律によって建てられているので東北の冬を想定した造りではない。寒い冬に、コンパネの床に寝る老後を送るとは思いも寄らなかった。・・・

これは、「帰宅困難区域」とされた福島県浪江町の酪農家・菅野みずえさんの話です。

・・・今私たちは先祖の菩提寺に参りましても、手袋で靴の上にビニール袋を履いています。素手で何かに触ることなどありません。蝶々さえ見ることはありません。ツバメの巢は軒から落ちてしまいました。あれほど大きかった蔵の青大将にも会いません。見るのも嫌でしたが、今となっては素肌で地を這う蛇は生きていられないのかと哀れに思われます。人のせいです。・・・

・・・私は拗ねているのか、国や県から絆と言われるのが嫌な気がします。絆とはべこ繋ぐ紐のことだべ、おらたちは誰に繋がれ、どこまで連れて行かれるべか」そんな気がするのです。「紐で人さ繋がれるものでねえ、人は自分で手さ繋ぐんだもの、紐さ要らにいべ」そう思っています。・・・



2013.5.7
 避難指示区域

みずえさんの話を紹介して下さったのは、小浜市にある明通寺の住職・中嶋哲演さんです。

小浜市は、原発が林立する若狭にあって、唯一原発を作らせなかったまちです。哲演さんは、ずっと以前から地元の人たちとともに原発誘致に反対し、いまま大飯原発差し止め訴訟の原告となり、原発のない地域づくりのために力を注いでいます。

その哲演さんが、6月15日にみずえさんを招いて開いた「聞いてください、浪江町のこと」と題する集いの報告を、送ってくださったのです。「一若狭の原発を考えるーはとぼっぽ通信」(2013.08,第194号)。

哲演さんとは、7月27日高槻市で開かれた医の倫理を問う集いで初めて会いました。

みずえさんは、帰れないのなら「コミュニティごと移り住める代替え地が欲しい」と訴えています。